

# スマラジ SmartDB Radio

もっと活用！  
「SmartDB」 Q&A 会



プロセス回付中に自動処理！イベントハンドラを学ぼう！



2023年4月21日  
株式会社ドリーム・アーツ

# ご案内



- 投影資料は後日コミュニティサイトにて共有いたします
- コミュニティサイトへの公開用として録画させていただきます
- 途中のご質問はチャットにて受け付けております  
お気軽にチャットにてコメントください  
最後にまとめて回答いたします
- 今後の改善のため、最後にアンケートの回答にご協力ください
- バージョンやご利用方法によって、  
デモでの画面イメージや操作感が一部違う場合がございます

# コミュニティサイトのご案内

本日の資料、事後QAなどは以下の「スマラジ!ルーム」にて掲載します  
 こちらのサイトは関係者のみ閲覧・投稿が可能です  
 今日のご感想を投稿していただくなどみんなで盛り上げてもらえると嬉しいです！  
 ※閲覧にはサポートサイトへのログインが必要です。

<https://cs.support-smartdb.com/hc/ja/community/topics/5423952120601>

Yahoo知恵袋の  
 ようなイメージ



「新規投稿とコメント」で  
 フォローをお願いします！



# コミュニティサイトとは？

SmartDBを利活用する上で発生する

お悩みや困りごと・活用方法をみんなで解決する場です。

## 交流の場

目的別に仲間づくり

- ユーザーイベント参加者とコミュニケーション
- ここだけの話をクローズドにシェア
- SmartDBに限らない話題で深く知り合う

## 気軽に質問

ユーザー同士で気軽に相談

- 気になったことは気軽に質問
- 他ユーザーの質問が参考情報
- 気になる投稿へコメント
- ノウハウをシェア

## 製品フィードバック

ユーザーの声が製品へ

- 新機能などへのフィードバックを収集
- 開発チームが直接確認

# トピックの紹介

**ドリーム・アーツからのお知らせ**  
 イベント情報やTips紹介などDAからのお役立ち情報配信のトピック

**一般Q&A**  
 気軽に製品や活用方法について質問できるトピック

**みんなに聞きたい！**  
 他ユーザーに聞いてみたいことを聞くトピック

コミュニティのトピック

<p>ドリーム・アーツからのお知らせ</p> <p>6件の投稿・6フォロー</p>	<p>一般Q&amp;A</p> <p>みんな気になることを質問！</p> <p>32件の投稿・18フォロー</p>	<p>みんなに聞きたい！</p> <p>他ユーザーへ質問、相談</p> <p>0件の投稿・1フォロー</p>
<p>新機能フィードバック受付</p> <p>1件の投稿・3フォロー</p>	<p>スマラジ！ルーム</p> <p>過去動画・資料を公開中</p> <p>9件の投稿・4フォロー</p>	<p>スマコミュ！ルーム</p> <p>スマコミュ！用ルーム</p> <p>1件の投稿・2フォロー</p>

**新機能フィードバック**  
 新機能に対して使用感や要望を投稿できるトピック

**スマラジ！ルーム**  
 開催したスマラジ！の動画や資料を共有するトピック

**スマコミュ！ルーム**  
 スマコミュ！（ユーザー会）のコミュニケーション用のトピック



講師

氏名： 金城 洸毅（きんじょう ひろき）  
所属： 協創パートナー推進本部 CSX1G  
出身： 沖縄県  
経歴： 新卒入社→入社以来ほぼSmartDB導入支援担当  
趣味： ハンドボール、Netflixで韓国ドラマを見る



サポート

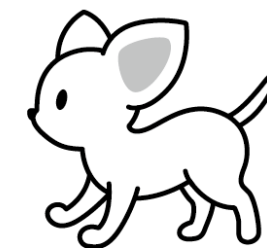
氏名： 廣瀬 璃奈（ひろせりな）  
所属： 協創パートナー推進本部 CSX2  
出身： 東京都  
経歴： サポート  
趣味： サウナ、ドライブ、おいしいごはん巡り



サポート

氏名： 上野谷 早容佳（うえのやさよか）  
所属： マーケティング本部 マーケティンググループ  
出身： 広島県  
経歴： 銀行員 → DA入社以来マーケ担当  
趣味： 動画鑑賞、甥っ子の成長を見る、ピラティス

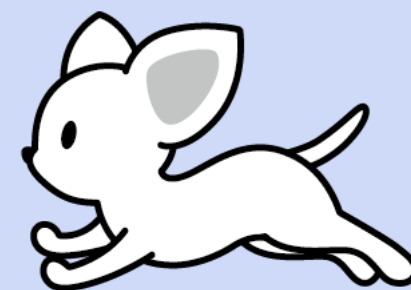
よろしく  
お願いします！！



時間	所要	内容	備考
16:00	3分	ご案内、企画趣旨 について	
16:03	45分	機能概要：イベントハンドラ 設定例 その他機能詳細と設定時の注意 点	紹介する機能例 ・アクティビティ単位の設定方法 ・実行できるタイミングや用途 など
16:48	10分	事前質問への回答 質疑応答	
16:58	2分	お知らせ	
17:00	-	終了	アンケート記入にご協力をお願いいたします。



# 1. イベントハンドラとは



1 イベントハンドラの大枠をつかむ

2 イベントハンドラの利用イメージをつかむ

### 01.現在の担当者取得(稟議申請)

業務プロセス編集

基本情報 - 01.現在の担当者取得(稟議申請)\_(ドラフト版)

- 00 Start
  - 初期遷移 → 02 1次承認
- 01 【汎用アクティビティ】再申請
  - 再申請[REAPPLY]
  - 取下げ[Withdrawal] → 07 取下げ
- 02 【承認アクティビティ】1次承認**
  - 承認[APPROVE]
  - 差戻し[TURNDOWN] → 01 再申請
- 03 【承認アクティビティ】2次承認
  - 承認[APPROVE]
  - 差戻し[TURNDOWN] → 01 再申請
- 04 【承認アクティビティ】最終承認
  - 承認[APPROVE]
  - 差戻し[TURNDOWN] → 01 再申請
- 05 【汎用ロボット】承認処理
  - 本人確認[Next]
- 06 【汎用アクティビティ】本人確認
  - 確認[OK] → 08 End
- 07 【汎用ロボット】取下げ
  - 取下げ[Withdrawal]
- 08 End

追加

#### レイアウトブロック権限

タイトルブロック	<input type="radio"/> 編集可能 <input type="radio"/> 閲覧可能 <input type="radio"/> 非公開 <input checked="" type="radio"/> フォーム定義
■ 申請ステータス	<input type="radio"/> 編集可能 <input type="radio"/> 閲覧可能 <input type="radio"/> 非公開 <input checked="" type="radio"/> フォーム定義
■ 申請概要	<input type="radio"/> 編集可能 <input type="radio"/> 閲覧可能 <input type="radio"/> 非公開 <input checked="" type="radio"/> フォーム定義
■ 申請内容	<input type="radio"/> 編集可能 <input type="radio"/> 閲覧可能 <input type="radio"/> 非公開 <input checked="" type="radio"/> フォーム定義
■ 承認ルート	<input type="radio"/> 編集可能 <input type="radio"/> 閲覧可能 <input type="radio"/> 非公開 <input checked="" type="radio"/> フォーム定義
承認履歴	<input type="radio"/> 編集可能 <input type="radio"/> 閲覧可能 <input type="radio"/> 非公開 <input checked="" type="radio"/> フォーム定義

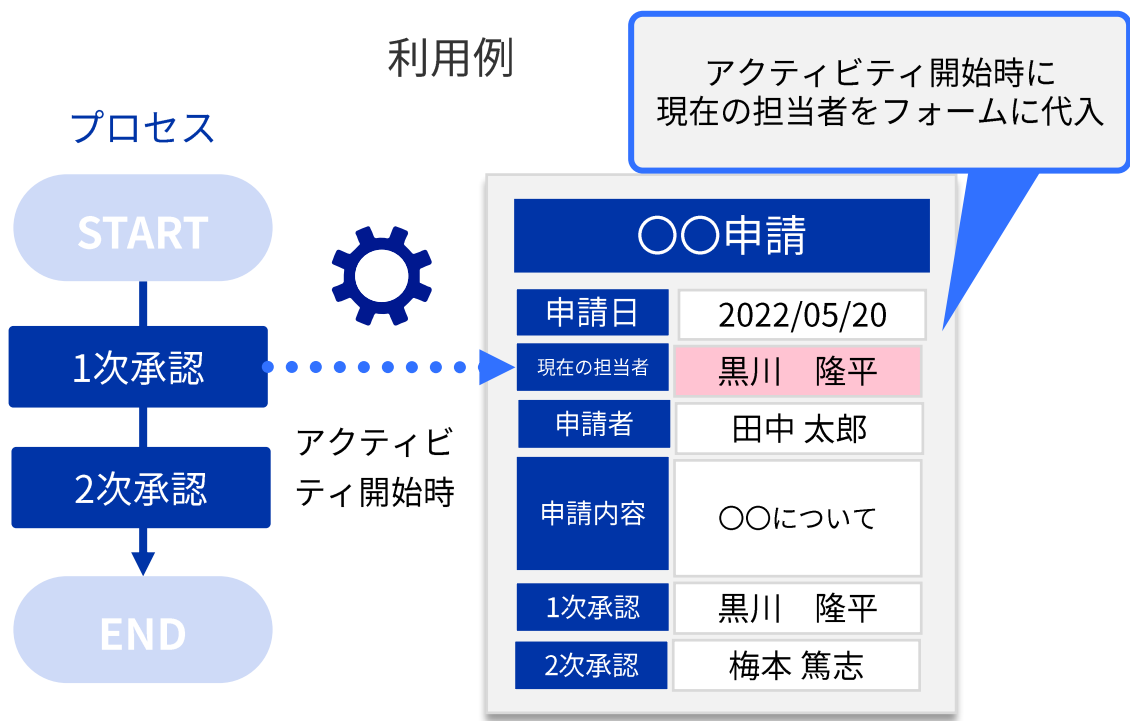
プロセス定義の  
このエリアで設定する機能です！

#### イベントハンドラ

アクティビティ開始時	ダウンロード アップロード	1. 文書情報格納先 doc01 に格納されているレコードの部品 [Current_charge] 現在の担当者 [部品キー: Current_charge] に 担当者 をセット
アクティビティ終了時	ダウンロード アップロード	(設定なし)
承認ボタンクリック時	ダウンロード アップロード	(設定なし)
差戻しボタンクリック時	ダウンロード アップロード	(設定なし)
取戻しボタンクリック時	ダウンロード アップロード	(設定なし)
差戻し元へボタンクリック時	ダウンロード アップロード	(設定なし)
取戻し元へボタンクリック時	ダウンロード アップロード	(設定なし)

適用

イベントハンドラはアクティビティ単位で文書に値を代入したり文書データを判定して遷移先の分岐させるなどの独自の処理を自動で実行することができます



実行できるタイミング

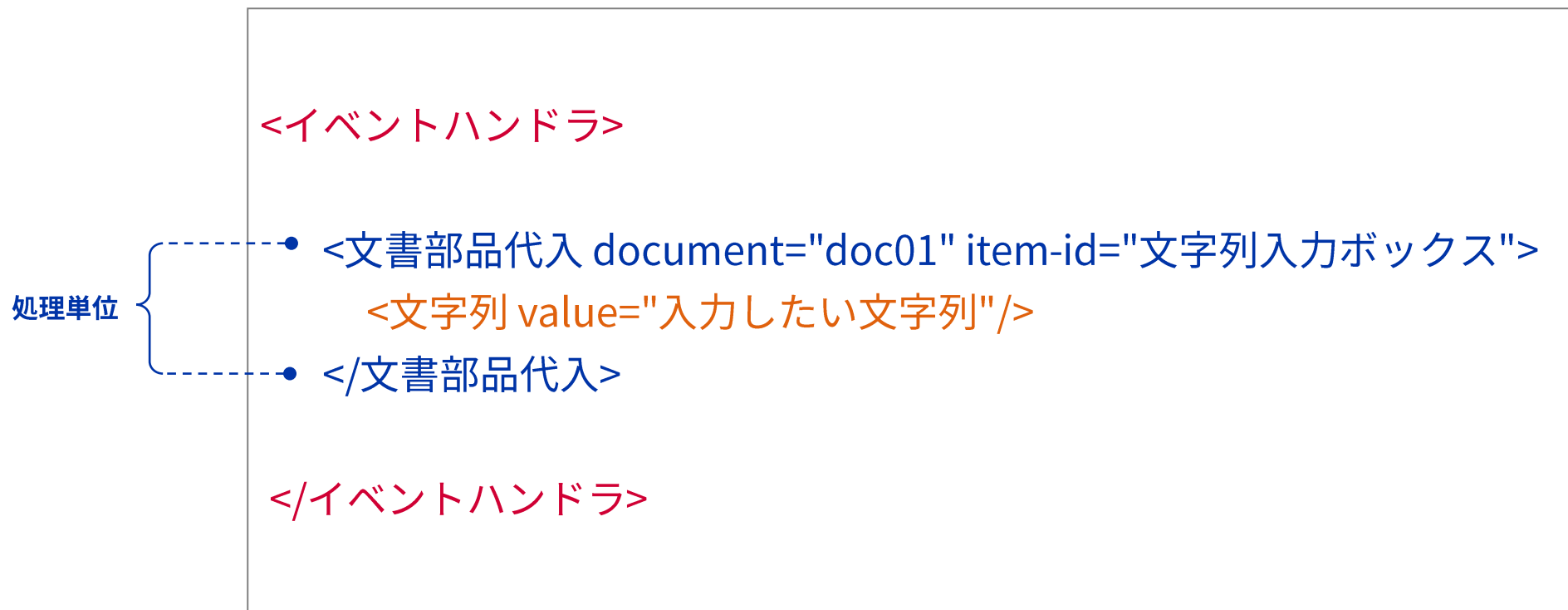
タイミング	用途
アクティビティ開始時	アクティビティ開始時に実行させたい処理がある場合
アクティビティ終了時	どのボタンが押下されても実行させたい処理がある場合
	イベントハンドラからアクティビティを終了させる場合 複数人の実施が必要になるが一度だけ実行させたい処理がある場合
実施ボタンクリック時	ボタンごとに実行させたい処理を分けたい場合

[イベントハンドラについて](#)

イベントハンドラの種類	内容
文書系	文書の再計算、部品へ値の代入、レイアウトブロックの権限付与などができます
コマンド系	プロセスの強制終了、遷移先の指定、アカウントの追加、変数への値の代入などができます
制御系	条件判定で真であればその配下の、偽であればその配下の処理を行うことができます
関数系	アカウントの比較、数値の比較や演算、文字列の比較や連結などができます
メッセージ送信系	メール通知をすることができます
特殊系	イベントハンドラのルート要素となります。複数のイベントハンドラを組み合わせる場合は必須のタグとなります

それぞれの**イベントハンドラを組み合わせ**ながら設定を行います

イベントハンドラはXMLと同様の記述ルールで記載され、タグ(<○○>と</○○>)と呼ばれる特殊な文字列を使用して記載していきます。



※XMLとは「Extensible Markup Language」の略で、日本語では「拡張可能なマークアップ言語」と訳されます。特定の企業が提供している技術ではなく、インターネット上で使用される各種技術の標準化推進団体である、W3C（World Wide Web Consortium）によるオープンな規格です。  
 引用：XMLとは？ <https://hnavi.co.jp/knowledge/blog/xml/> (閲覧日：2023/04/10)

## 2. イベントハンドラの実例の利用例

- 1 アクティビティの現在の担当者をアカウント部品に代入する
- 2 アクティビティ単位でのメールを通知する
- 3 ワークフロー回付中に入力された値によって遷移先を変更する
- 4 文書作成ロボットで作成した文書と作成元の文書リンクを相互に紐づける

1 アクティビティの現在の担当者をアカウント部品に代入する

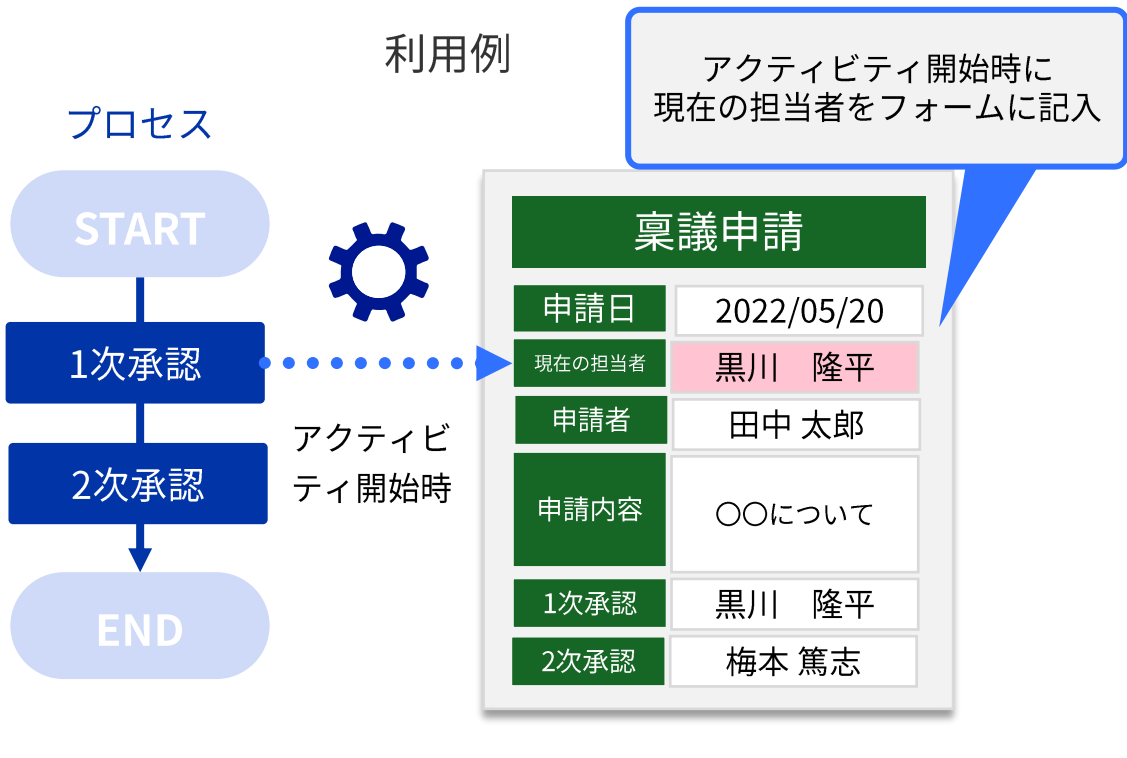
2 アクティビティ単位でのメールを通知する

3 ワークフロー回付中に入力された値によって遷移先を変更する

4 文書作成ロボットで作成した文書と作成元の文書リンクを相互に紐づける

1. アクティビティの現在の担当者をアカウント部品に代入する

ワークフローの現在の担当者をアカウント部品に追加する



稟議申請

■ 申請ステータス

申請ステータス	● 承認待ち
現在の担当者	黒川 隆平
終了日	

■ 承認ルート

1次承認者	黒川 隆平
2次承認者	若田 由美子
最終承認者	梅本 篤志

アクティビティ名	実施日時	実施者	コメント
▶ Start	2023/03/30 14:10	金城 洸毅	
👤 1次承認	進行中		

現在のアクティビティ

# 画面デモ

下記2つのイベントハンドラを利用します！

文書系イベントハンドラ

文書部品代入

```
<文書部品代入 document="doc01" item-id="部品A">  
  ○○  
</文書部品代入>
```

説明：部品Aに○○を代入する



関数系イベントハンドラ

アカウント型 担当者

```
<担当者/>
```

説明：アクティビティの担当者を返す

1. アクティビティの現在の担当者をアカウント部品に代入する-イベントハンドラの解説-

■ 承認ルート

1次承認者	1次承認者[部品キー : Approver1] 黒川 隆平
2次承認者	2次承認者[部品キー : Approver2] 若田 由美子
最終承認者	最終承認者[部品キー : Approver_last] 梅本 篤志



参加者

動的な担当グループを使用する ?

担当者	
1	doc01 >> [Approver1] 1次承認者 ⊗ <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>部品</span> <span>ルール</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>組織ルール</span> <span>アカウント</span> </div>

担当グループ追加

■ 申請ステータス

申請ステータス	● 承認待ち
現在の担当者	現在の担当者[部品キー : Current_charge] 黒川 隆平

イベントハンドラ

アクティビティ開始時

ダウンロード アップロード

1. 文書情報格納先 doc01 に格納されているレコードの部品 [Current\_charge] 現在の担当者[部品キー : Current\_charge] に 担当者 をセット

```
<文書部品代入 document="doc01" item-id="Current_charge">
<担当者/>
</文書部品代入>
```

イベントハンドラの解説

アクティビティ開始時に、「アカウント部品：現在の担当者 (Current\_charge)」に「担当者」を追加する

```
<文書部品代入 document="doc01" item-id="Current_charge">
<担当者/>
</文書部品代入>
```

# 実際の設定画面

## 1. アクティビティの現在の担当者をアカウント部品に代入する-設定のポイント-

 ポイント

現在の担当者を文書内に持つことで、「自分が現在担当者」ビューを作成することができ、1アプリ内で自分が承認すべき文書のみを表示することができます

全件    承認済み    自分が申請    自分が現在の担当者

 自分が現在の担当者  
 備品購入稟議  
 契約締結稟議

>>自分が現在の担当者

新規登録

3件中 1~3件を表示しています。

稟議No.	操作	起案日	終了日	ステータス	現在の担当者[部品キー: Current_charge]	申請種別	件名	予算	取引相手先	申請部署	申請者
20230007	<a href="#">詳細</a>	2023/03/30		●承認待ち	 黒川 隆平	備品購入稟議	 ○○○の件について	123,456円		購買部	 金城 洗毅
20230006	<a href="#">詳細</a>	2023/03/30		●承認待ち	 黒川 隆平	契約締結稟議	 ××との契約について	500,000円		購買部	 金城 洗毅
20230002	<a href="#">詳細</a>	2023/03/30		●承認待ち	 黒川 隆平	備品購入稟議	 テスト	123,456円		購買部	 金城 洗毅

新規登録

1 アクティビティの現在の担当者をアカウント部品に代入する

2 アクティビティ単位でのメールを通知する

3 ワークフロー回付中に入力された値によって遷移先を変更する

4 文書作成ロボットで作成した文書と作成元の文書リンクを相互に紐づける

決裁アクティビティ終了時に申請者と各承認者にメール通知を出す



# 画面デモ

下記2つのイベントハンドラを利用します！

### メッセージ送信イベントハンドラ

#### メッセージ送信

```
<メッセージ送信 document="doc01" >  
<宛先>  
○○  
○○  
</宛先>  
<件名>××</件名>  
<本文>  
△△  
</本文>  
</メッセージ送信>
```

説明：宛先○○に件名××で本文△△のメールを送信する



### 文書系イベントハンドラ

#### 文書部品

```
<文書部品 document="doc01" item-id="部品A"/>
```

説明：部品Aの値を取得して返す。

## 2. アクティビティ単位でのメールを通知する-イベントハンドラ解説-

〇〇申請

**■ 基本情報**

申請番号	00020
申請部署	<span style="background-color: #e0f0ff; padding: 2px;">CSローンチグループ</span>
申請者	申請者[部品キー: Applicant] <span style="background-color: #ffe0b2; padding: 2px;">金城 光毅</span>
件名	件名[部品キー: Title] イベント参加についての申請

**■ 申請内容**

〇〇者	
〇〇先	
〇〇開始日	2023/02/09

1次承認者	1次承認者[部品キー: Approver1] <span style="background-color: #ffffe0; padding: 2px;">梅本 篤志</span>
2次承認者	2次承認者[部品キー: Approver2] <span style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">若田 由美子</span>
決裁者	決裁者[部品キー: Approver5] <span style="background-color: #e0e0ff; padding: 2px;">田中 (部門長)</span>

通知先[部品キー: Text\_mail]

h\_kinjo@dreamarts.co.jp



### <イベントハンドラ>

<メール送信 document="doc01">

<宛先>

<文書部品 document="doc01" item-id="Applicant"/>

<文書部品 document="doc01" item-id="Approver1"/>

<文書部品 document="doc01" item-id="Approver2"/>

<文書部品 document="doc01" item-id="Text\_mail"/>

</宛先>

<件名>決裁が終わりました</件名>

<本文>下記議議の決裁が終わりました。内容についてご確認ください。

=====

■件名: \$contents.get("Title").value

■文書URL: \$url.documentDetail

=====

</本文>

</メール送信>

</イベントハンドラ>

### イベントハンドラの解説

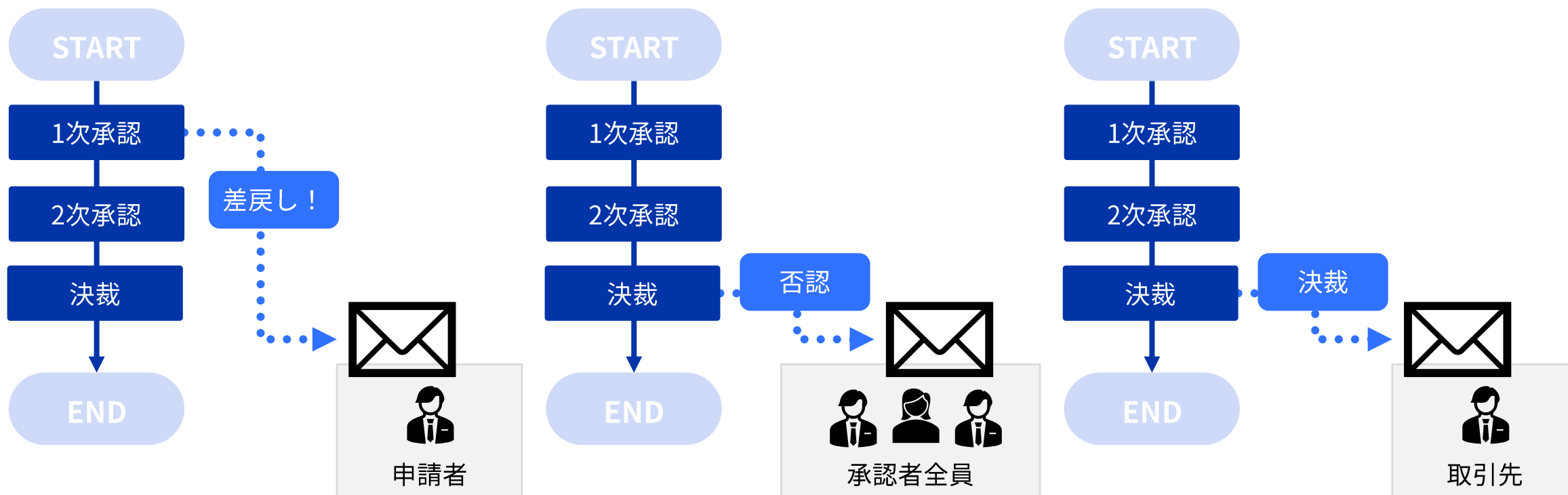
汎用アクティビティで決裁ボタンが押されたとき

「アカウント部品: 申請者(Applicant)」 「アカウント部品: 1次承認者(Appover1)」 「アカウント部品: 2次承認者(Appover2)」 「アカウント部品: 1次承認者(Appover1)」 「テキスト1行: 通知先(Text\_mai)」 にメールを通知する

# 実際の設定画面

### ポイント

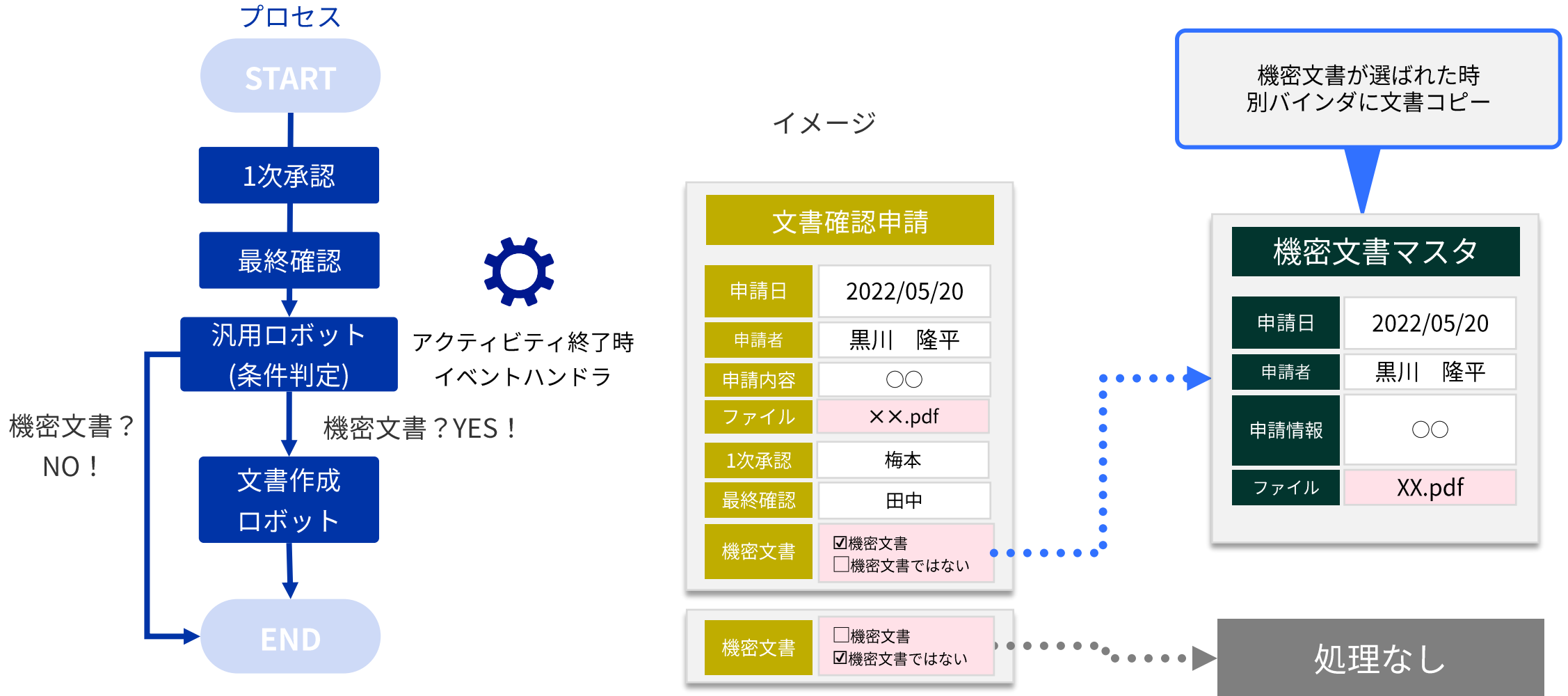
メールを任意のタイミング、任意のユーザーに送ることができる。(通常のプロセス通知はアクティビティ開始時にプロセス担当者もしくはプロセス終了時に申請者のみにしか送ることができない)



- 1 アクティビティの現在の担当者をアカウント部品に代入する
- 2 アクティビティ単位でのメールを通知する
- 3 ワークフロー回付中に入力された値によって遷移先を変更する
- 4 文書作成ロボットで作成した文書と作成元の文書リンクを相互に紐づける

3.ワークフロー回付中に入力された値によって遷移先を変更する

最終確認者の選択した部品によって、後続の処理を変更する



# 画面デモ

下記5つのイベントハンドラを利用します！

**制御系イベントハンドラ**

**条件判定**

```
<条件判定>
<条件>
  ○○
</条件>
<真>×× </真>
<偽>△△ </偽>
</条件判定>
```

説明：○○の条件で、trueの時は××の処理、falseの時は△△の処理を行う



**関数系イベントハンドラ**

**論理値・文字列系**

```
<文字列AとBは等しい>
<A>○○ </A>
<B>○○ </B>
</文字列AとBは等しい>
```

説明：文字列Aが文字列Bと同じであればtrue、異ればfalseを返す



**コマンド系イベントハンドラ**

**遷移先**

```
<遷移先 key="○○"/>
```

説明：アクティビティ終了後に進む遷移先Key○○に遷移する

**関数系イベントハンドラ**

**定数型**

```
<文字列 value="ああ"/>
```

説明：文字列として“ああ”を返す。

**文書系イベントハンドラ**

**文書部品**

```
<文書部品 document="doc01"
  item-id="文字列部品A"/>
```

説明：文字列部品Aの値を取得して返す。

3.ワークフロー回付中に入力された値によって遷移先を変更する-イベントハンドラ解説-

確認申請

**■ 確認者用**

機密文書かどうか	機密文書[部品キー: Confidential] <input type="radio"/> 機密文書 <input type="radio"/> 機密文書ではない
機密文書マスタリンク	<input type="text" value="機密文書選択"/>

**■ 承認ルート**

1次承認者	<input type="text" value="金城 洸毅"/>
-------	------------------------------------



アクティビティ終了時

ダウンロード
アップロード

1. ■ 条件分岐 ■

◆ 条件 :

"機密文書" = 文書情報格納先 doc01 に格納されているレコードの部品 [Confidential] 機密文書

◆ 条件が真の場合

1. アクティビティ終了後の遷移先を [遷移先名のキー: COPY] へ設定

◆ 条件が偽の場合

1. アクティビティ終了後の遷移先を [遷移先名のキー: END] へ設定

<条件判定>

<条件>

<文字列AとBは等しい>

<イベントハンドラ>

<条件判定>

<条件>

<文字列AとBは等しい>

<A><文字列 value="機密文書"/></A>

<B> <文書部品 document="doc01" item-id="Confidential"/></B>

</文字列AとBは等しい>

</条件>

<真><遷移先 key="COPY"/></真>

<偽><遷移先 key="END"/></偽>

</条件判定>

</イベントハンドラ>

イベントハンドラの解説

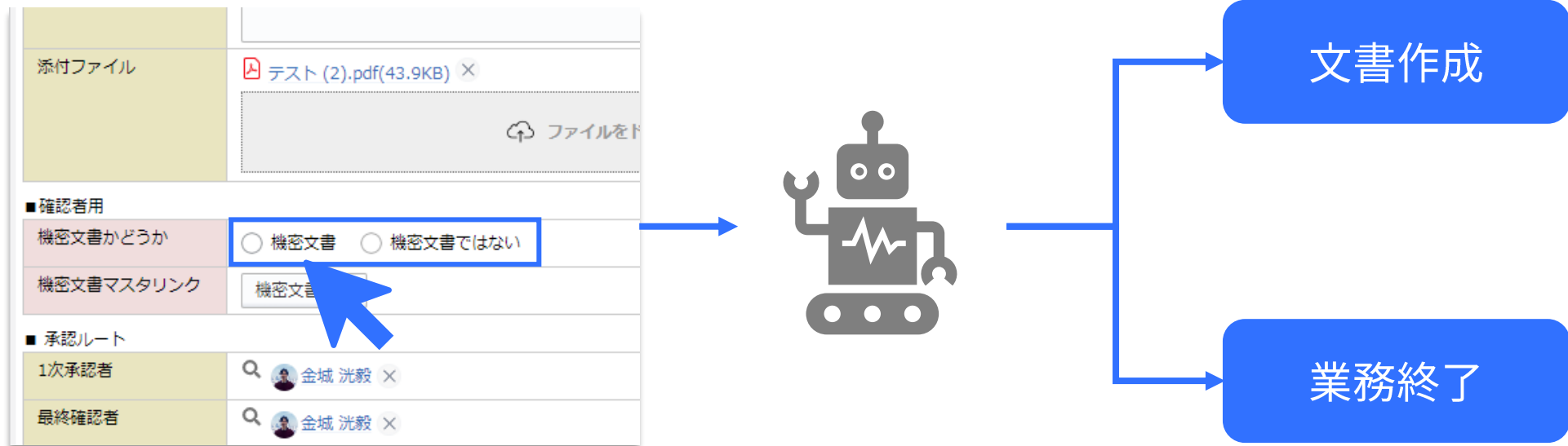
「単一選択部品：機密文書(Confidential)」が「文字列="機密文書"」と等しい時、COPYの方へ遷移する

# 実際の設定画面

## 3. ワークフロー回付中に入力された値によって遷移先を変更する-設定のポイント-

 ポイント

ワークフロー回付中の操作によって、処理を自動で行うことができ、ユーザの誤操作を防ぐことができる。



- 1 アクティビティの現在の担当者をアカウント部品に代入する
- 2 アクティビティ単位でのメールを通知する
- 3 ワークフロー回付中に入力された値によって遷移先を変更する
- 4 文書作成ロボットで作成した文書と作成元の文書リンクを相互に紐づける

作成元文書を作成先の文書に紐づけ、作成先の文書を作成元に紐づける



[文書作成ロボットについて](#)

# 画面デモ

下記2つのイベントハンドラを利用します！

### 文書系イベントハンドラ

#### 文書部品代入

```
<文書部品代入 document="doc01" item-id="部品A">  
  ○○  
</文書部品代入>
```

説明：部品Aに○○を代入する



### 文書系イベントハンドラ

#### 文書

```
<変数 name="doc01"/>
```

説明：nameに指定した文書変数を返す

開始バイнда(doc01)

見積申請(コピー元)	
コピー先リンク	コピー先リンク[部品キー : Link] 支払管理_ドリームアーツ
申請日	2023/03/30
申請者	金城 洸毅 購買部
会社名	ドリームアーツ

ロボット作成バイнда(doc02)

支払い管理書(コピー先)	
コピー元文書	コピー先リンク[部品キー : link] 見積申請_ドリームアーツ
申請日	2023/03/30
申請者	金城 洸毅 購買部
会社情報	ドリームアーツ
タイトル	〇〇の件
発行場所	Amazon

文書情報格納先 doc02

ダウンロード アップロード

アクティビティ終了時

- 次の代入操作を一括で行う
  - 文書情報格納先 doc01 に格納されているレコードの部品 [10003] Link に [doc02(変数)] をセット
  - 文書情報格納先 doc02 に格納されているレコードの部品 [10009] バイнда参照ボタン に [doc01(変数)] をセット
- 文書情報格納先 doc02 に格納されているレコードの自動更新部品を再計算する

```

<イベントハンドラ>
<文書代入>

<!--コピー元文書にコピー先文書代入-->
<文書部品代入 document="doc01" item-id="10003">
<変数 name="doc02"/>
</文書部品代入>

<!--コピー先文書にコピー元文書代入-->
<文書部品代入 document="doc02" item-id="link">
<変数 name="doc01"/>
</文書部品代入>
</イベントハンドラ>
    
```

### イベントハンドラの解説

文書作成ロボットにて文書を作成後  
コピー元の「バイнда参照部品：コピー先リンク(Link)」  
にコピー先の文書(doc02)のリンクを代入する

コピー先の「バイнда参照部品：コピー元リンク(link)」に  
コピー先の文書(doc01)のリンクを代入する

※バイнда参照ボタン部品へ「<変数 name="doc××"/>」を代入すると  
該当の文書のリンクが代入されます。

```

<イベントハンドラ>
<文書代入>
    
```

```

<文書部品代入 document="doc01" item-id="Link">
<変数 name="doc02"/>
</文書部品代入>
    
```

```

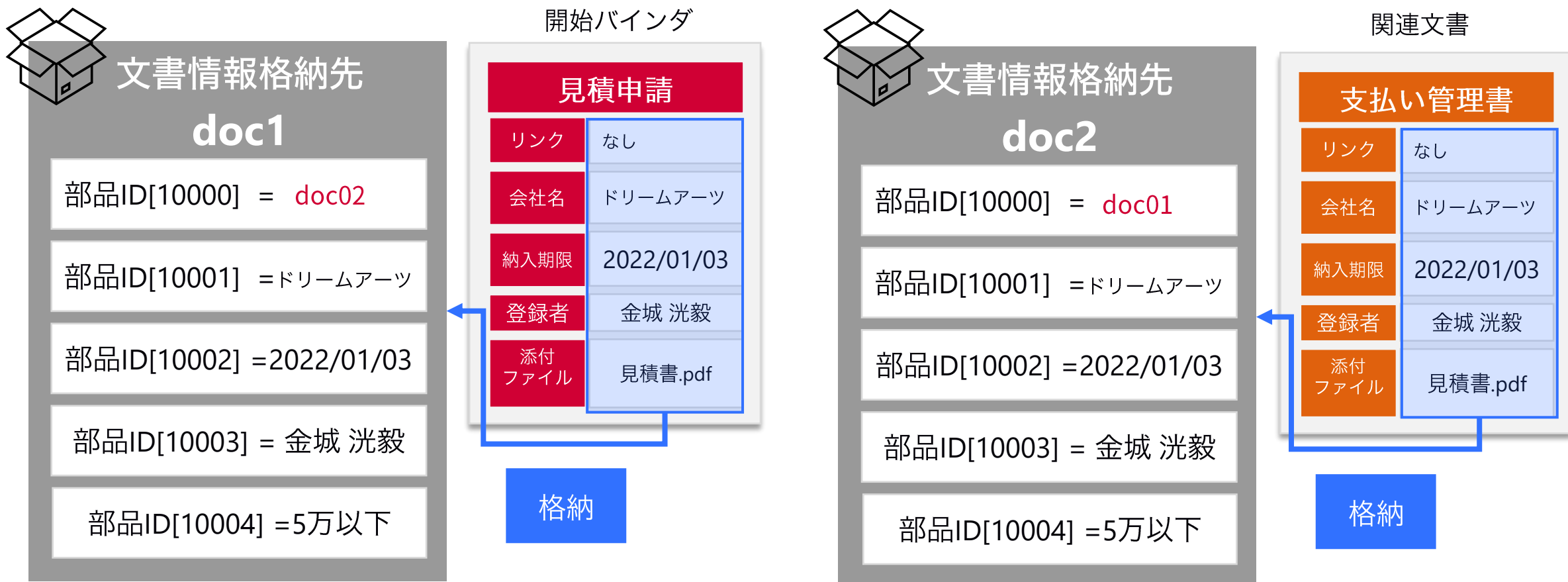
<文書部品代入 document="doc02" item-id="link">
<変数 name="doc01"/>
</文書部品代入>
</文書代入>
    
```

```

</イベントハンドラ>
    
```

# 実際の設定画面

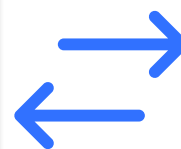
文書の内容を代入する**"変数" (=データを容れる箱)**のことです。  
 プロセス定義では変数(=文書情報格納先)に文書内のデータを代入してから、情報を処理しています。  
 1回のワークフローで複数の文書データを処理するときは、複数の変数(=doc)が必要になります。



 ポイント

作成された文書と作成元の文書が紐づくことで、関連文書を互いに参照することができます。

見積申請(コピー元)	
コピー先リンク	コピー先リンク[部品キー : Link] <input type="text" value="支払い管理_ドリームアーツ"/>
申請日	2023/03/30
申請者	 金城 洗毅  購買部
会社名	ドリームアーツ
タイトル	〇〇の件
納入場所	Amazon
納入期限	2023/03/30
支払い条件	5万以下
添付ファイル	



支払い管理書(コピー先)	
コピー元文書	コピー先リンク[部品キー : link] <input type="text" value="見積申請_ドリームアーツ"/>
申請日	2023/03/30
申請者	 金城 洗毅  購買部
会社情報	ドリームアーツ
タイトル	〇〇の件
納入場所	Amazon
納入期限	2023/03/30
支払い条件	5万以下
コピー元文書	

以上

1 まずはコピー&ペーストで利用してみる

2 イベントハンドラの構造を理解する

3 様々なイベントハンドラを組み合わせてみる

# Appendix-イベントハンドラを設定する場合の注意点-

1

ミス：ダブルクォーテーションがない

```
<アカウント追加 document=doc01 item-id=authorizer>
  <実施者/>
</アカウント追加>
```

対応：ダブルクォーテーションを入れる

```
<アカウント追加 document="doc01" item-id="authorizer">
  <実施者/>
</アカウント追加>
```

2

ミス：複数処理で最上位タグがない

```
<アカウント追加 document="doc01" item-id="authorizerList">
  <実施者/>
</アカウント追加>

<メール送信 document="doc01">
  <宛先><文書部品 document="doc01" item-id="Approver1"/></宛先>
  <件名>決裁が終わりました</件名>
  <本文>
  下記稟議の決裁が終わりました。内容についてご確認ください。
  </本文>
</メール送信>
```

対応：最上位タグをつける

```
<イベントハンドラ>
<アカウント追加 document="doc01" item-id="authorizerList">
  <実施者/>
</アカウント追加>

  <メール送信 document="doc01">
    <宛先><文書部品 document="doc01" item-id="Approver1"/></宛先>
    <件名>決裁が終わりました</件名>
    <本文>
    下記稟議の決裁が終わりました。内容についてご確認ください。
    </本文>
  </メール送信>
</イベントハンドラ>
```

3

ミス：終了タグがない

```
<アカウント追加 document="doc01" item-id="authorizer">  
  <実施者>  
</アカウント追加>
```

対応：終了タグをいれる

```
<アカウント追加 document="doc01" item-id="authorizer">  
  <実施者 />  
</アカウント追加>
```

4

ミス：全角スペースが入っている

```
<アカウント追加 document="doc01"  item-id="authorizer">  
  <実施者 />  
</アカウント追加>
```

対応：半角スペースに変更する

```
<アカウント追加 document="doc01" |item-id="authorizer">  
  <実施者 />  
</アカウント追加>
```

5

ミス：複数文書部品代入する場合  
文書代入タグがない

```
<イベントハンドラ>  
<文書部品代入 document="doc01" item-id="部品A">  
  <文書部品 document="doc01" item-id="部品B"/>  
</文書部品代入>  
  
<文書部品代入 document="doc01" item-id="部品C">  
  <文書部品 document="doc01" item-id="部品D"/>  
</文書部品代入>  
  
<文書部品代入 document="doc01" item-id="部品E">  
  <文書部品 document="doc01" item-id="部品F"/>  
</文書部品代入>  
</イベントハンドラ>
```

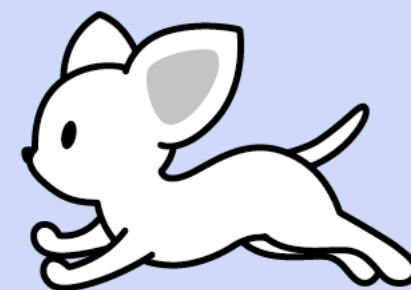
※ 都度文書更新となる

対応：文書代入タグをいれる

```
<イベントハンドラ>  
<文書代入>  
<文書部品代入 document="doc01" item-id="部品A">  
  <文書部品 document="doc01" item-id="部品B"/>  
</文書部品代入>  
  
<文書部品代入 document="doc01" item-id="部品C">  
  <文書部品 document="doc01" item-id="部品D"/>  
</文書部品代入>  
  
<文書部品代入 document="doc01" item-id="部品E">  
  <文書部品 document="doc01" item-id="部品F"/>  
</文書部品代入>  
</文書代入>  
</イベントハンドラ>
```

※ 一括文書更新となる

# 事前質問への回答

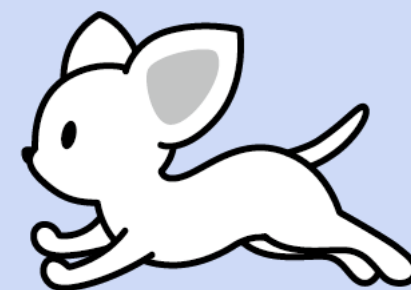


No.	QA
1	<p>Q： 沢山同じパターンを設定したい場合、コピー機能や簡単に設定できる方法がありますか？</p> <p>A： 他定義に利用する場合はイベントハンドラのエクスポート、インポートが可能です。もしくはコピー＆ペーストでも大丈夫です。※部品IDやdocには注意</p>
2	<p>Q： 申請中（回覧中）の文書において、承認フローに設定された複数の承認者のうち、次に承認が必要な承認者の値をとってることがイベントハンドラで可能かどうか知りたいです</p> <p>A： 文書部品代入のイベントハンドラで可能かと思われます。例）アクティビティ①の開始時にアクティビティ②の担当者を取ってくる</p>
3	<p>Q： 現状イベントハンドラでしかできないこと（通知の送信・値の代入等）を、通常の機能として実装する計画はあるのか</p> <p>A： 通知の任意のタイミングの送信については、アクティビティを拡張することで対応することを検討していますが、2023年度では優先度の問題から予定しておりません。値の代入については、現在は予定しておりません。</p>
4	<p>Q： 今後はイベントハンドラの機能を拡充する方向と、イベントハンドラを使わずにできることを増やしていく方向のどちらを目指しているのか。</p> <p>A： 基本的には、イベントハンドラを使わずに、設定だけでできることを増やす方向です。</p>

No.	QA
5	<p>Q：変数代入の使い方。文書部品代入と、どう違うのか教えてほしいです。</p> <p>A：変数代入とは、プロセス定義上で定義した、変数に値を代入する行為です。例) 変数X=あああ, 変数Y=いいい 文書部品代入とはバインダの部品に値を代入することを指します。例) 部品A=あああ、部品B=いいい</p>
6	<p>Q：ブロック権限を使用したイベントハンドラの具体例 使い方としてはフォーム定義で編集不可になっているレイアウトブロックを、 イベントハンドラ実行後に編集可能にするという使い方イメージで合ってますか？</p> <p>A：ご認識の通りです。ただ、ポイントとしては、プロセスの非担当者に対してレイアウトブロックの権限を 付与するイメージとなります。※前提：プロセス回付中に担当者以外はレイアウトブロックの権限は ありません。<a href="#">ワークフロー回付中に担当者以外のユーザーが文書を更新することはできますか？</a></p> <p>■サンプル：レイアウトブロックID“10002”についてプロセスの非担当者に対して編集権限を与える。 &lt;非担当者レイアウトブロック権限 document="doc01"&gt; &lt;編集可能 block-id="10002"/&gt; &lt;/非担当者レイアウトブロック権限&gt;</p>
7	<p>Q：メッセージ送信イベントハンドラの設定で毎回非常に苦労しています。 「メッセージ送信イベントハンドラ」や「バインダ通知定義で使用できる変数」でこんな使い方もできるよ！と いう利用方法があったら知りたいと思います。</p> <p>A：メッセージ送信イベントハンドラの利用方法は利用例の2でご説明した内容と同様です。 プロセスの通知にはフォーム上の部品やプロセス上で代入された変数の値を使用することも可能です。</p>

No.	QA
8	<p>Q：イベントハンドラの記述のしかたが詳しく記載してあるところを教えてください。</p> <p>A：<a href="#">イベントハンドラについて</a> をご参照ください。</p>
9	<p>Q：アクティビティ実施日を日付部品に入力する設定をした後、評価式に「clear( )」を入力して編集可否をOFFにすると、次のプロセスに進んだ段階で、日付自体が（clearされて）消えてしまいます。他に、イベントハンドラで設定した日付を編集不可にする方法がありますか？</p> <p>A：「clear()」の関数を入れている背景をお伺いしたいです。レイアウトブロックを編集不可にしておいて、日付の更新をイベントハンドラのみしておけば、編集不可にすることは可能です。「clear()」をどうしても入れる必要がある場合は、評価式にclearされる条件を定義していただければと思います。</p>
10	<p>Q：通知などバイнда側にもイベントハンドラ側にも設定可能なものについて、どのように使い分ければ良いのか。</p> <p>A：文書の登録、更新、削除のタイミングもしくは定期的に通知を出したい場合はバイндаの通知定義を利用 ワークフローの各アクションのタイミングで通知したい場合はイベントハンドラの通知を利用いただければと存じます。</p>

# お知らせ



## スマラジ！（SmartDB Radio）：

関連文書の更新も！もっとイベントハンドラを学ぼう！

日時：5月19日（金） 16:00-17:00

内容：イベントハンドラおさらい / 別バイнда文書更新など



ご参加お待ちしております！

<https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/event/se230519/>



【4月30日まで】 コミュニティ参加者限定

ITreviewへのアンケート掲載でもれなくプレゼント！

Amazonギフト券 **3,000**円分



スマートデービー

×



キャンペーンコードを必ずご入力ください

**kWevvWfB**

※「キャンペーン要項」を必ずご確認ください



無くなり  
次第終了

Step.1



ITreviewに  
会員登録をしよう

Step.2



レビュー・口コミ  
を書こう

Step.3

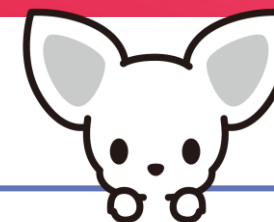


掲載されると...

Step.4



Amazonギフト券GET!!



[キャンペーン専用ページURL](#)

本日はご参加ありがとうございました。

今後の改善のためにご感想・ご意見いただけますと幸いです。

次回もお楽しみに！！



アンケート：<https://forms.office.com/r/haDUeCJWCA>

コミュニティサイト：<https://cs.support-smartdb.com/hc/ja/community/posts/170366504393283>



コミュニティサイトにて  
本日ご紹介した**定義ファイル**を  
公開します！ぜひご活用ください！